（様式１－３）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等個票

平成 29 年３月時点

※本様式は１－２に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	119	事業名	豊間被災市街地復興土地区画整理事業		事業番号	D-17-14
交付団体			いわき市	事業実施主体（直接/間接）	いわき市（直接）	
総交付対象事業費			10,247,606(千円)	全体事業費	12,737,111(千円)	

事業概要

東日本大震災により広域かつ甚大な津波被災を受けた沿岸市街地の復興に向け、地域の復興ニーズに的確に対応しながら、土地区画整理の手法により、できるだけ早期に震災前より安全・安心で、活力に満ち溢れた、市街地の形成を行う。

また、工事進捗の遅れに伴う物騰分及び、南高台長大法面においてひび割れが発生したことから、その対策工事が必要となったことにより、全体事業費が増額するもの。

【事業区域】　Ａ＝約 55.9ha

【復興ビジョン】

○取組の柱１ 被災者の生活再建

主な取組み：津波等により被害を受ける危険性の低い場所への集団移転なども視野に入れ、一刻も早く本格的な生活再建ができるよう、様々な取組みを進めます。

○取組の柱３ 社会基盤の再生強化

主な取組み：被害の大きかった沿岸域等について、地域の意見を聴きながら、地域特性を活かした土地利用計画を策定します。

【復興事業計画（第一次）】

○取組の柱３ 社会基盤の再生・強化 ⑴ 生活基盤の再生

取 組 名：被災市街地復興土地区画整理事業

取組内容：広範かつ甚大な被災を受けた市街地の復興に対応するため、それぞれの地域の復興ニーズに的確に対応し、被災市街地復興土地区画整理事業等により緊急かつ健全な市街地の復興を推進する。

○重点施策　１　津波被災地域の復興に向けた土地利用プロジェクト

【事業間流用による経費の変更】（平成 28 年 11 月 17 日）

労務費・資材費や諸経費率の変動及び対策工事の実施による工事費等の増。D-4-1 災害公営住宅整備事業（久之浜）より 1,487,267 千円（国費：H24 予算 19,250 千円、H25 予算 1,096,200 千円）、D-4-2 災害公営住宅整備事業（四倉）より 504,771 千円（国費：H25 予算 235,550 千円、H25 特 143,028 千円）、D-4-4 災害公営住宅整備事業（平薄磯）より 497,467 千円（国費：H24 予算 249,375 千円、H25 予算 123,725 千円）を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 10,247,606 千円（国費：7,685,702 千円）から 12,737,111 千円（国費：9,552,830 千円）に増額。

当面の事業概要

H28　調査、設計、移転補償、工事

東日本大震災の被害との関係

当該地区は、東日本大震災の大津波により、区域の大部分が浸水し、壊滅的な被害を受け、多くの犠牲者を出した。

【国土交通省の直轄事業による調査結果：平(豊間)地区】

死者：74 名

全壊・大規模半壊：617 棟

半壊・一部損壊：93 棟

関連する災害復旧事業の概要

海岸堤防の復旧(TP.7.2)、河川の復旧(諏訪川)　　等

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等（いわき市交付分）

No.	119	事業名	豊間被災市街地復興土地区画整理事業	基幹事業	基本国費率(a)	1/2

（千円）

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	合計
事業費	総事業費(b+f)		189,099	2,080,488	6,130,063	2,969,249				11,368,899
	交付対象事業費(b)		142,307	1,938,122	5,883,560	2,283,617				10,247,606
	うち、市町村以外の者が負担する額を減じた額(C)		142,307	1,938,122	5,883,560	2,283,617				10,247,606
	うち交付金交付額(d) ○基幹事業の場合 (d)＝a×b＋(c－a×b)/2 ○効果促進事業等の場合 (d)＝0.8c		106,730	1,453,591	4,412,669	1,712,712				7,685,702
	対象外事業費(f)		46,792	142,366	246,503	685,632				1,121,293
事業工程	交付対象事業		測量、 換地設計、 工事等	測量、 補償、 工事等	補償、 工事、 処分費等	補償、 工事	D-4-1 災害公営住宅整備事業（久之浜）より1,487,267千円（国費：H24 予算 19,250千円、H25予算1,096,200千円）、D-4-2 災害公営住宅整備事業（四倉）より504,771千円（国費：H25予算235,550千円、H25特 143,028千円）、D-4-4 災害公営住宅整備事業（平薄磯）より497,467千円（国費：H24 予算 249,375千円、H25予算123,725千円）を流用。これにより、流用後全体事業費は10,247,606千円（国費：7,685,702千円）から12,737,111千円（国費：9,552,830千円）に増額。			
	対象外事業		事務費、 委託費	事務費	事務費	事務費				

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料

（単位：千円）

<table>
<tr><th colspan="2">復興交付金事業等の名称／目的及び内容</th><th colspan="2">交付金の算出方法</th></tr>
<tr><td>事業名</td><td>豊間被災市街地復興土地区画整理事業</td><td>工事費 (A)</td><td>10,247,606</td></tr>
<tr><td>箇所名</td><td>平地区豊間</td><td>控除額 (B)</td><td>0</td></tr>
<tr><td>事業認可告示年月日</td><td></td><td>交付対象事業費
(C)=(A)-(B)</td><td>10,247,606</td></tr>
<tr><td>事業着手年度</td><td>平成24年度</td><td>基本国費率</td><td>1/2</td></tr>
<tr><td>事業施行期間</td><td>平成24年度～平成30年度</td><td>交付額 (D)</td><td>7,685,702</td></tr>
<tr><td>工事延長及び施行面積</td><td>施工面積 A=55.9ha</td><td colspan="2">摘要</td></tr>
<tr><td>事業完了予定期日</td><td>平成30年度</td><td colspan="2" rowspan="5">〔平成24年度〕
本工事費 57,665
設計委託費 84,642
〔平成25年度〕
本工事費 876,335
設計委託費 153,313
用地・補償費 908,474
〔平成26年度〕
本工事費 4,885,837
用地・補償費 997,723
〔平成27年度〕
本工事費 2,278,347
設計委託費 5,270
用地・補償費</td></tr>
<tr><td colspan="2">経費の配分</td></tr>
<tr><td>本工事費</td><td>8,098,184</td></tr>
<tr><td>設計委託費</td><td>243,225</td></tr>
<tr><td>用地費及補償費</td><td>1,906,197</td></tr>
<tr><td>船舶及機械器具費</td><td>0</td><td colspan="2">＜参考＞事業間流用による経費の変更（平成28年11月17日）
D-4-1 災害公営住宅整備事業（久之浜）より1,487,267千円（国費：H24 予算 19,250千円、H25予算1,096,200千円）、D-4-2 災害公営住宅整備事業（四倉）より504,771千円（国費：H25 予算235,550千円、H25特 143,028千円）、D-4-4 災害公営住宅整備事業（平薄磯）より497,467千円（国費：H24 予算249,375千円、H25予算123,725千円）を流用。これにより、流用後交付対象事業費は10,247,606千円（国費：7,685,702千円）から12,737,111千円（国費：9,552,830千円）に増額。</td></tr>
<tr><td>工事費計 (A)</td><td>10,247,606</td><td>本工事費・計</td><td>10,247,606</td></tr>
</table>

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成28年度）

平成〇年〇月現在

※本様式は１－２①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体		No.		事業番号		事業名		事業実施主体	

項　　　目	平成28年度 第1四半期	平成28年度 第2四半期	平成28年度 第3四半期	平成28年度 第4四半期	備　考
法定手続き・許認可等					
地域等の合意形成					
調査・測量・設計					
用地買収					
工事			〇〇〇工事 △△工事		
その他（議会等）					

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）
（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。
（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成24年度）

平成26年3月現在

※本様式は1－2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	68	事業番号	◆D-17-7-1	事業名	小名浜公民館耐震化事業	事業実施主体	いわき市

項　　目	平成24年度 第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	備　考
基本計画作成		→	→	→	（契約日） 平成24年8月9日 （期間） 平成24年8月10日から 平成25年3月29日まで

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）
（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。
（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成25年度）

平成26年3月現在

※本様式は1－2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	68	事業番号	◆D-17-7-1	事業名	小名浜公民館耐震化事業	事業実施主体	いわき市

項目	平成25年度 第1四半期	平成25年度 第2四半期	平成25年度 第3四半期	平成25年度 第4四半期	備考
実施設計委託		→	→	→	（契約日） 平成25年9月20日 （期間） 平成25年9月24日から 平成26年1月31日まで

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）

（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成26年度）

平成26年3月現在

※本様式は1－2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	68	事業番号	◆D-17-7-1	事業名	小名浜公民館耐震化事業	事業実施主体	いわき市

項　　目	平成26年度				備　考
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
耐震工事	- - - →	- - - - - - →	- - - - - - →	- - - - - - →	平成26年度実施予定 ※工事期間は、H27.9頃までとなる見込み。（現在設計中の実施設計（H26.1.31しゅん工予定）での中間報告による）

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）

（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成24年度～平成27年度）

平成26年8月現在

※本様式は1－2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	124	事業番号	D-17-14	事業名	豊間被災市街地復興土地区画整理事業	事業実施主体	いわき市

項　目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降	備　考
	6 9 12 3	6 9 12 3	6 9 12 3	6 9 12 3	6 9 12 3	
法定手続き・許認可等	●都決 都市計画決定 認可● 事業計画決定	●都決（変更） 仮換地指定	●指定 ●認可（変更） ●指定		処分● 換地処分	
調査・測量・設計		事業計画作成 ・ 測量 ・ 設計 ・ 換地設計 ・ 建物調査等				
用地買収		減価補償				
移転補償			建物移転補償			
工事			伐採処分 ・ 宅地造成 ・ 区画道路 ・ 上水道			
仮倉庫整備			仮設倉庫建設	仮設倉庫設置期間・仮倉庫撤去		
その他（議会等）	埋蔵文化財試掘調査（第1回） 埋蔵文化財試掘調査（第2回）	審議会 ・ 評価員会				

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）
（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。
（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成24年度～平成30年度）

平成28年11月現在

※本様式は1－2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	119	事業番号	D-17-14	事業名	豊間被災市街地復興土地区画整理事業	事業実施主体	いわき市

項　目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度以降	備　考
	6 9 12 3	6 9 12 3	6 9 12 3	6 9 12 3	6 9 12 3	
法定手続き・許認可等	都決 都市計画決定 事業計画決定 認可	都決（変更） 仮換地指定 指定	認可（第1回変更） 指定	認可（第2回変更）	認可（第3回変更）	処分 換地処分 H30年度内
調査・測量・設計	事業計画作成　・　測量　・　設計　・　換地設計　・　建物調査等					
用地買収		減価補償				
移転補償			建物移転補償			
工事（高台工区）		伐採処分　・　宅地造成　・　区画道路　・　上水道　・　公共施設整備工事			【南高台法面対策】 調査・設計・工事	宅地引渡し H30年3月完了
工事（平場工区）			宅地造成　・　区画道路　・　上水道　・　公共施設整備工事			宅地引渡し H29年10月完了
その他（議会等）	埋蔵文化財試掘調査（第１回） 埋蔵文化財試掘調査（第2回）	審議会　・　評価員会				

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）

（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

（参考様式）

いわき市復興交付金事業計画　復興交付金事業等工程表（平成24年度～平成30年度）

平成29年3月現在

※本様式は１－２①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	119	事業番号	D-17-14	事業名	豊間被災市街地復興土地区画整理事業	事業実施主体	いわき市

項目	平成24年度（6・9・12・3）	平成25年度（6・9・12・3）	平成26年度（6・9・12・3）	平成27年度（6・9・12・3）	平成28年度（6・9・12・3）	平成29年度以降（6・9・12・3）	備考
法定手続き・許認可等	都決 都市計画決定 事業計画決定 認可	都決（変更） 仮換地指定 指定	認可（第1回変更） 指定	認可（第2回変更）	認可（第3回変更）	処分 換地処分	
調査・測量・設計	事業計画作成　・　測量　・　設計　・　換地設計　・　建物調査等						
用地買収		減価補償					
移転補償			建物移転補償				
工事（高台工区）			伐採処分　・　宅地造成　・　区画道路　・　上水道　・　公共施設整備工事		【南高台法面対策】 調査・設計・工事	宅地引渡し H30年3月完了	
工事（平場工区）			宅地造成　・　区画道路　・　上水道　・　公共施設整備工事			宅地引渡し H29年10月完了	
その他（議会等）	埋蔵文化財試掘調査（第1回） 埋蔵文化財試掘調査（第2回）	審議会　・　評価員会					

（注）上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。（なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。）

（注）同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

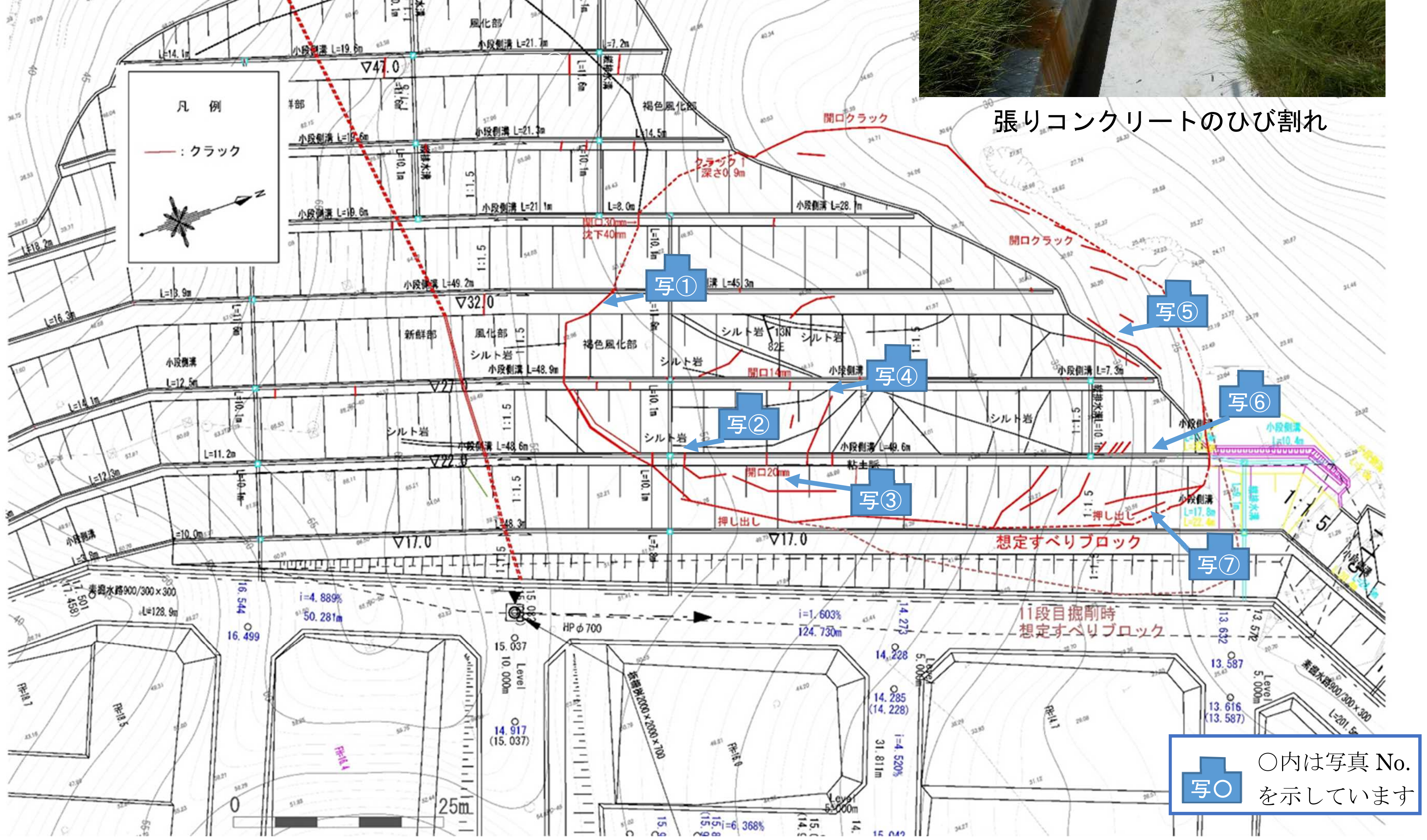
（注）平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

1. 豊間地区南高台 法面ひび割れ発生状況

小段のひび割れ

張りコンクリートのひび割れ

法面の押出しによるひび割れ



調査地平面図と変状箇所

張りコンクリートのひび割れ

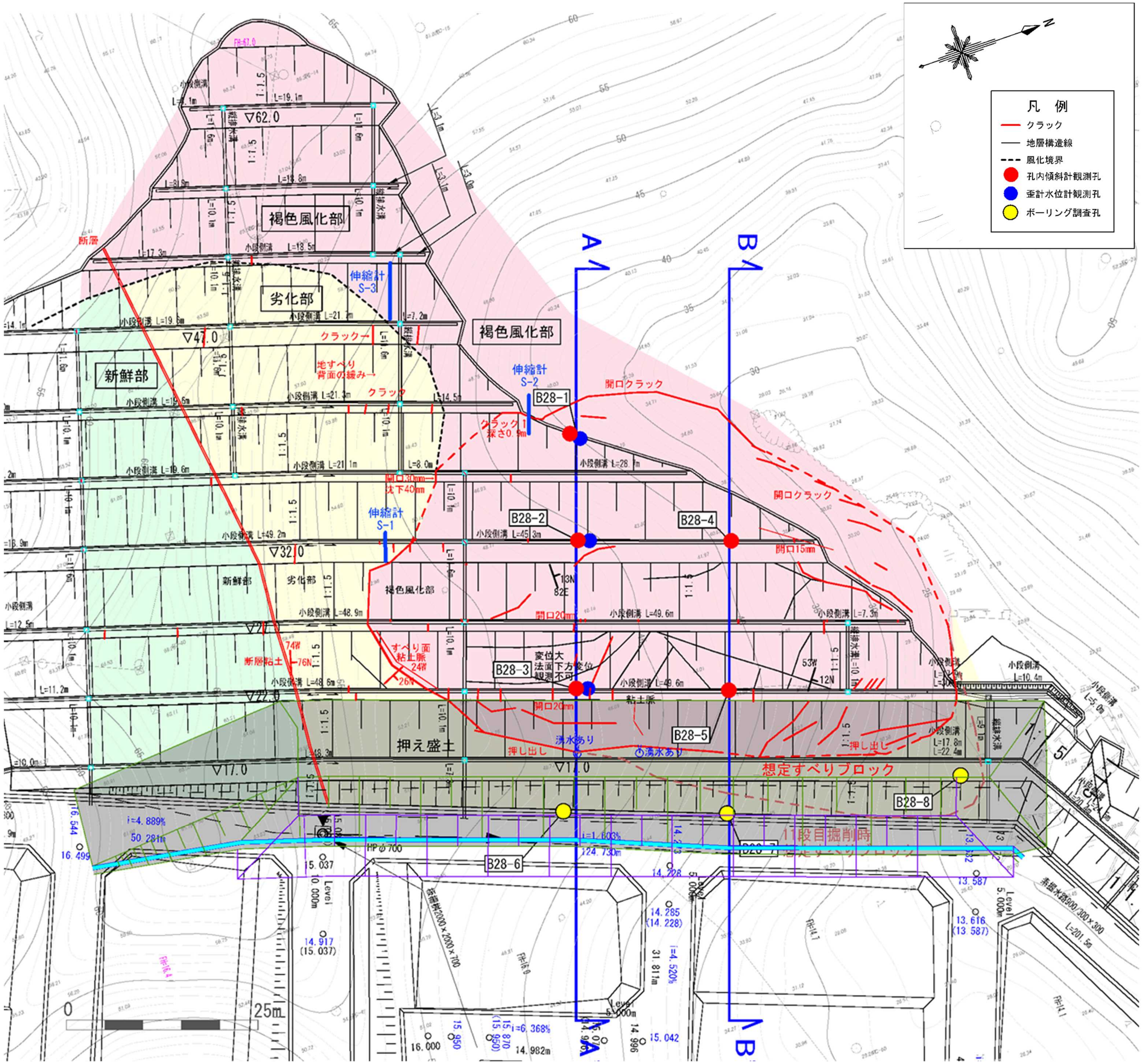
法肩のひび割れ

張りコンクリートの浮上がり

法面の押出しによるひび割れ

南高台法面全景

2.1.豊間地区南高台 法面ひび割れ調査結果まとめ（平面図）



調査箇所と地表踏査結果

調査数量および設置機器一覧

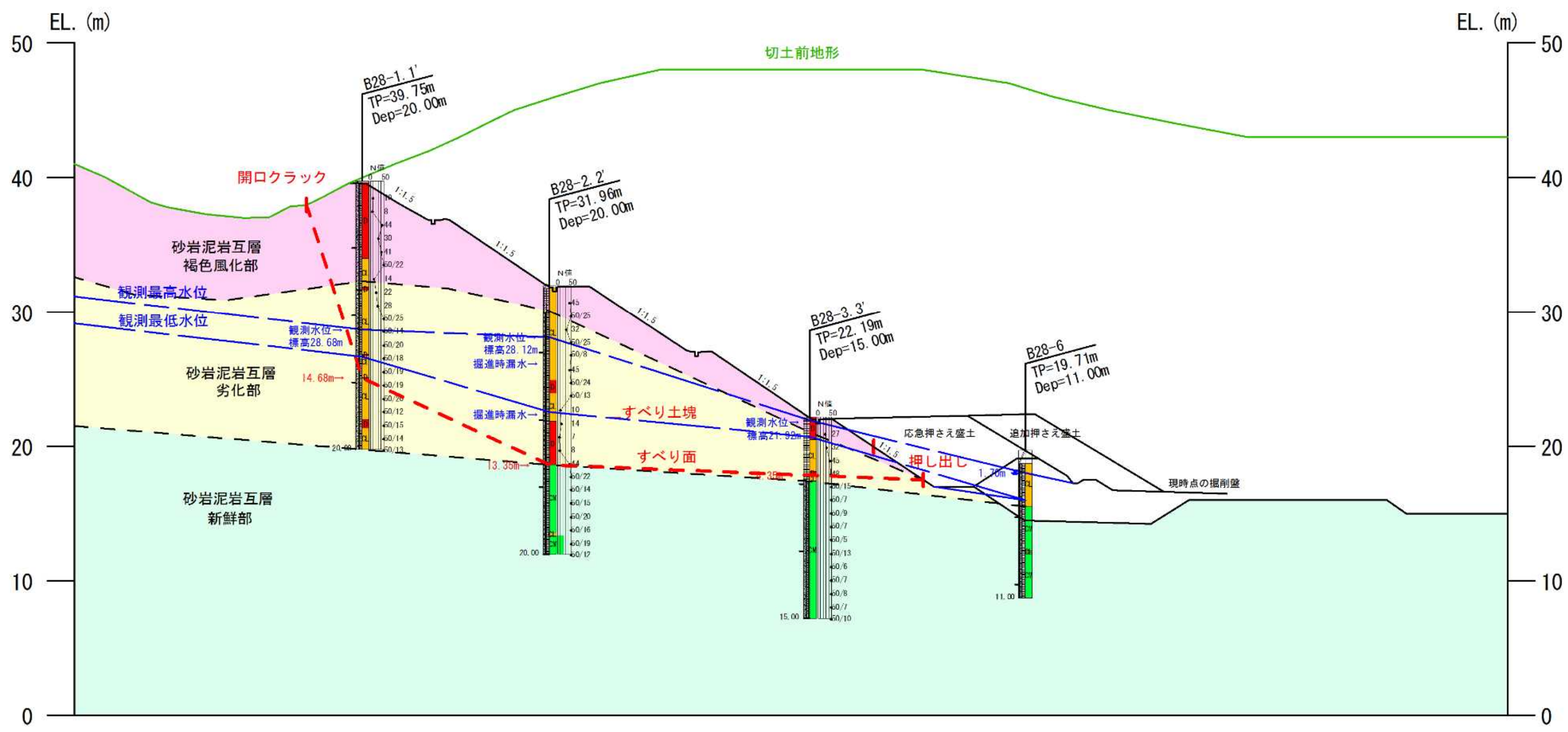
孔番	仕様	掘進長（m）	観測計器設置
B28-1	φ66オールコア	20.0	孔内傾斜計
B28-1'	φ66ペネコア	20.0	歪計・自記水位計
B28-2	φ66オールコア	20.0	孔内傾斜計
B28-2'	φ66ペネコア	20.0	歪計・自記水位計
B28-3	φ66オールコア	15.0	孔内傾斜計
B28-3'	φ66ペネコア	15.0	歪計・自記水位計
B28-4	φ66オールコア	20.0	孔内傾斜計
B28-5	φ66オールコア	15.0	孔内傾斜計
B28-6	φ66オールコア	11.0	−
B28-7	φ66オールコア	12.0	−
B28-8	φ66オールコア	15.0	−

変状・対策の経緯

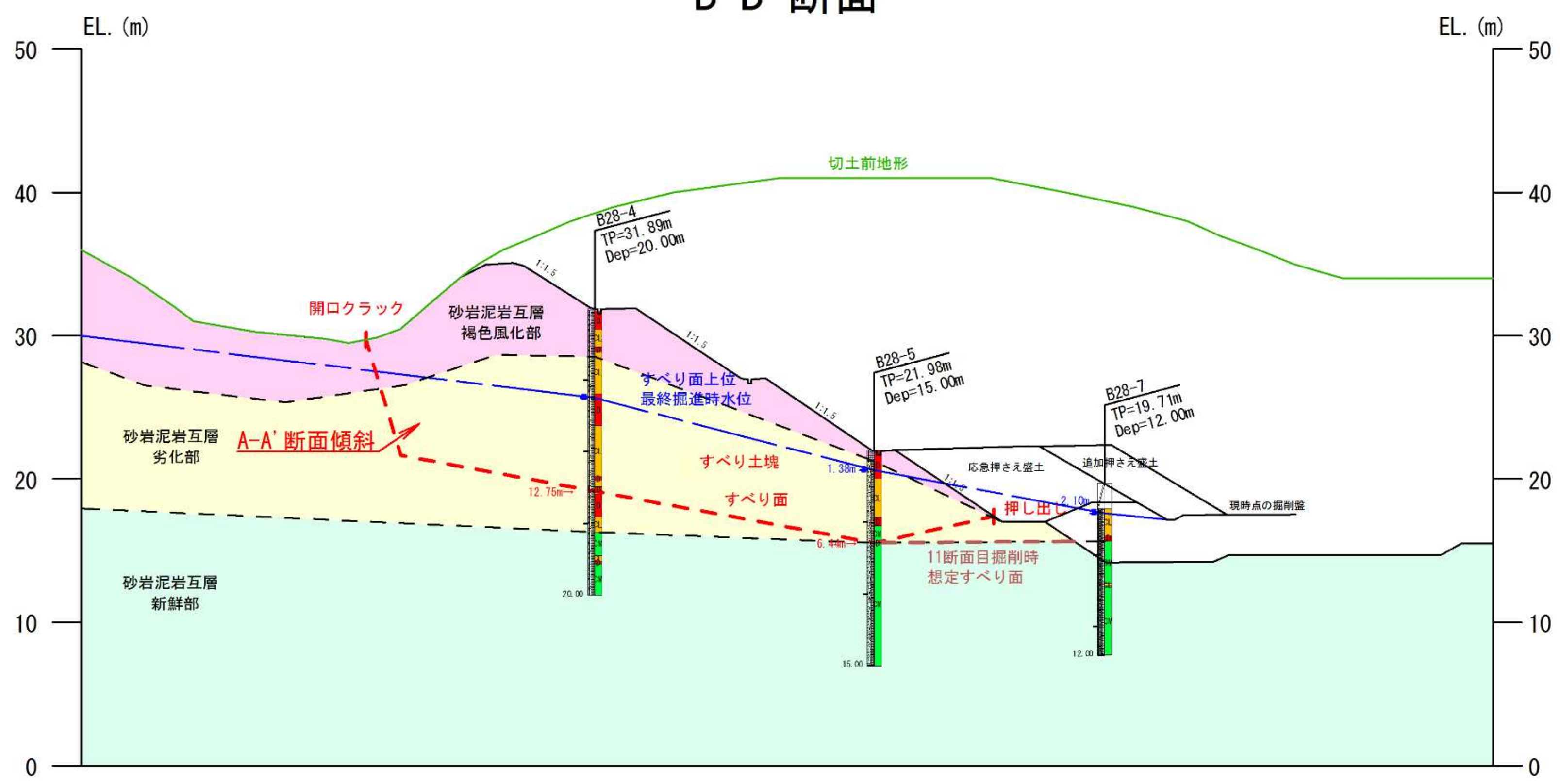
日付	経緯
2016/7/12	10段目法面に変状発生
2016/7/12〜	定点測量開始
2016/7/14〜15	10段目押え盛土
2016/8/4〜	ボーリング調査開始
2016/8/23〜	孔内傾斜計観測開始
2016/8/31	孔内傾斜計B28-3変位進行
2016/9/8〜	歪計・水位計観測開始
2016/9/14	孔内傾斜計観測に変位
2016/9/19	歪計観測に変位
2016/9/22	孔内傾斜計B28-2,4,5 変位進行 歪計B28-3測定上限値超過
2016/9/24〜27	10段目追加押え盛土 伸縮計観測開始

2.2.豊間地区南高台 法面ひび割れ調査結果まとめ（断面図）

A-A' 断面



B-B' 断面



A,B 測線　地質断面図

（1）地質状況

調査の結果、深いところでは深度 14.68m（A-A'断面）の位置にすべり面が想定され、影響範囲についても広範囲に及ぶことがわかった。

当該箇所の地層は 3 層に分別される。

【褐色風化部】（図中赤色）

・地表面に近い部分と想定すべり土塊部。
・岩内部まで風化して、褐色化している軟岩。

【劣化部】（図中黄色）

・風化による劣化が見られる軟岩（亀裂がやや多い）。

【新鮮部】（図中緑色）

・比較的硬質で新鮮な岩盤。

（2）ひび割れ範囲

・ひび割れ範囲は下から 2～6 段目の 5 段にわたる法面である。
・11 段の切土のうち、現在 10 段目まで切土している。今後 11 段目（最下段）の掘削により、さらに不安定化する要素を持っている。
・最終切土形状で安定度を評価、対策工を検討する。

（3）想定すべり規模

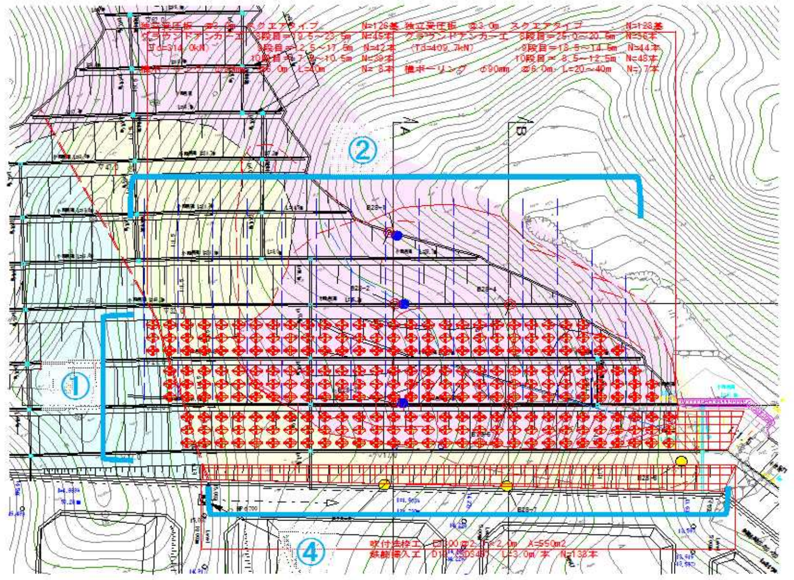
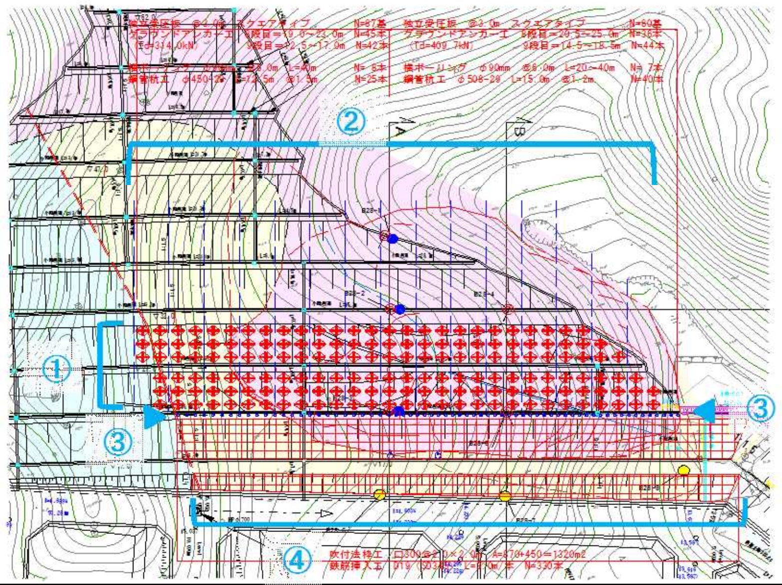
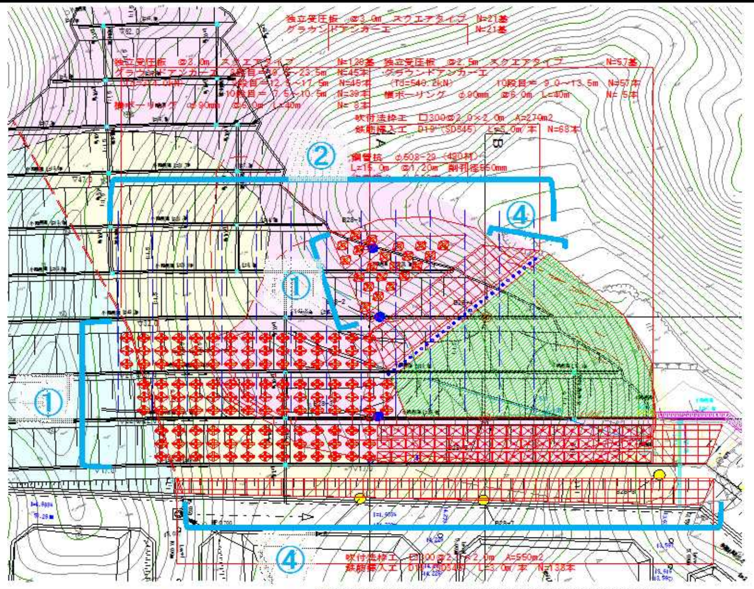
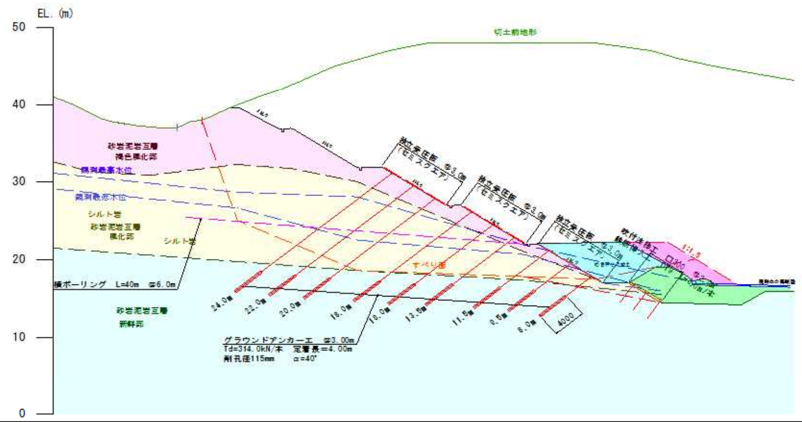
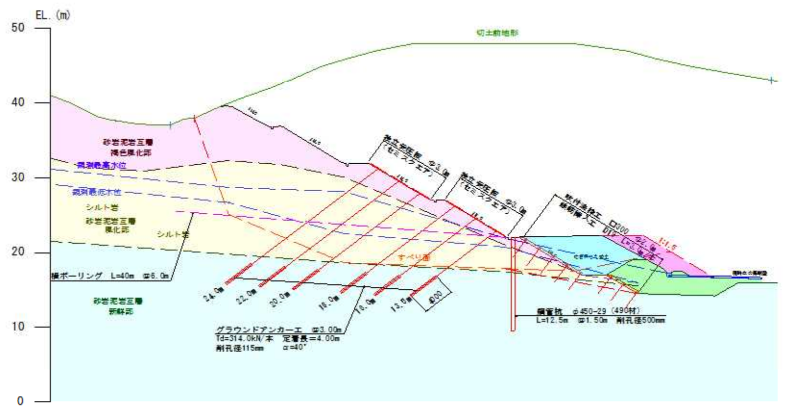
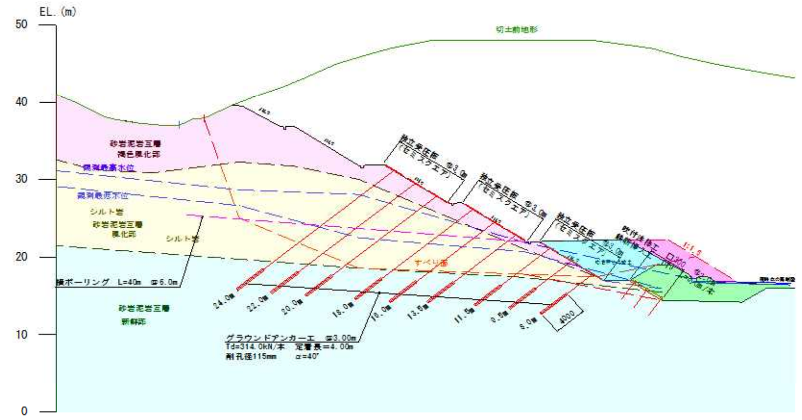
・幅約 75m、長さ約 45m、深さ約 15m

（4）ひび割れの要因

・掘削高さが最大で約 50m であり、造成工事の掘削による荷重の除去（応力開放）により地山のゆるみが大きかったこと。
・乾湿の繰り返しにより風化しやすい軟岩であったこと。
・亀裂が多い岩盤であったこと。
・地下水位が高く、降雨時の地下水位上昇が大きいこと。

資料4

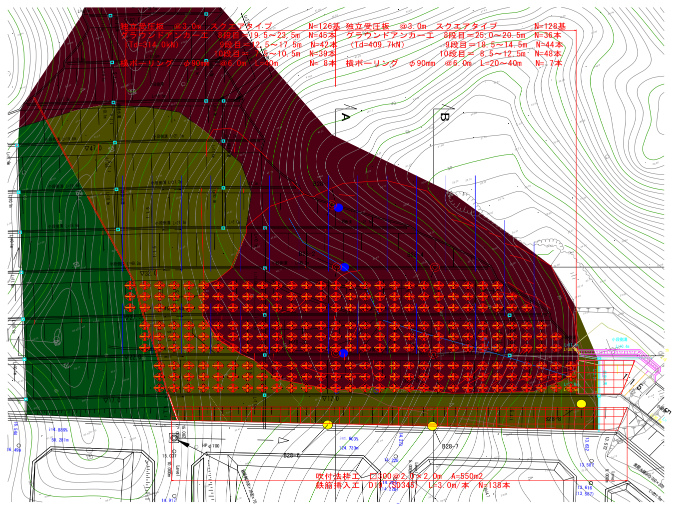
3. 豊間地区南高台 法面ひび割れ対策比較検討表

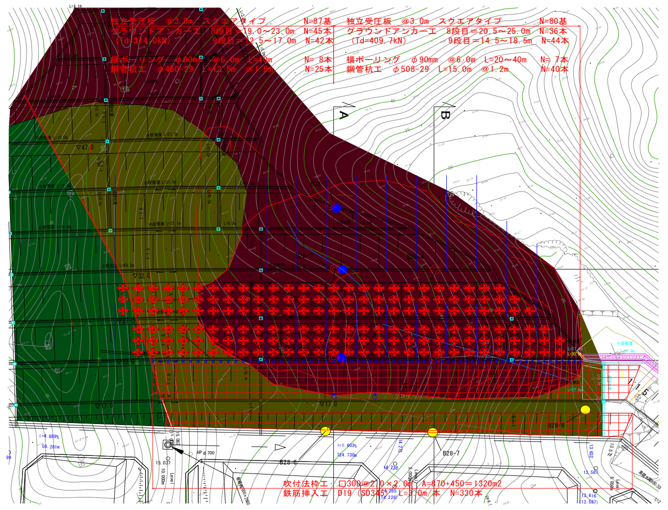
	第1案　横ボーリング工＋アンカー工		第2案　横ボーリング工＋アンカー工＋鋼管杭工		第3案　横ボーリング工＋排土工＋アンカー工+鋼管杭工	
平面図						
対策工法イメージ	 					
断面図						
概　　要	・横ボーリングにて地下水位を低下し、アンカー工にてすべりを抑止する対策工法である。		・横ボーリングにて地下水位を低下し、アンカー工と鋼管杭工にてすべりを抑止する対策工法である。		・横ボーリングにて地下水位を低下し、排土工、アンカー工と鋼管杭工にてすべりを抑止する対策工法である。	
施　工　性	・基本的に単一工種であるので、施工性に優れる。	○	・工種が多く、施工性の面では劣る。 ・抑止杭の施工は、上下作業とならないように上段部のアンカー工施工後の作業となるため工期が長くなる。	△	・工種が多く、施工性の面では劣る。 ・抑止杭の施工は、上下作業とならないように上段部のアンカー工施工後の作業となることから工期が長くなる。 ・杭工の施工が斜面上部での施工となることから別途搬入路の確保が必要。	×
景　　観 ・維持管理	・3案とも大きな違いはない。 ・アンカー工の維持管理が必要となる。	—	・3案とも大きな違いはない。 ・アンカー工の維持管理が必要となる。	—	・3案とも大きな違いはない。 ・アンカー工の維持管理が必要となる。	—
施工期間	・約11か月	○	・約16か月	×	・約15か月＋α	×
経　済　性	・工事費が安く経済的に有利である。　約90,000 万円	○	・最も高価となる。　約106,000 万円	×	・工事費がやや高い。　約91,000 万円	△
判　　定	**・工期も短く、工事費が安く経済的に有利である。**	○	**・工期が長く、工事費も高く経済性に劣る。**	△	**・搬入路等の仮設工事やそれに伴う法面対策が必要となる。**	△

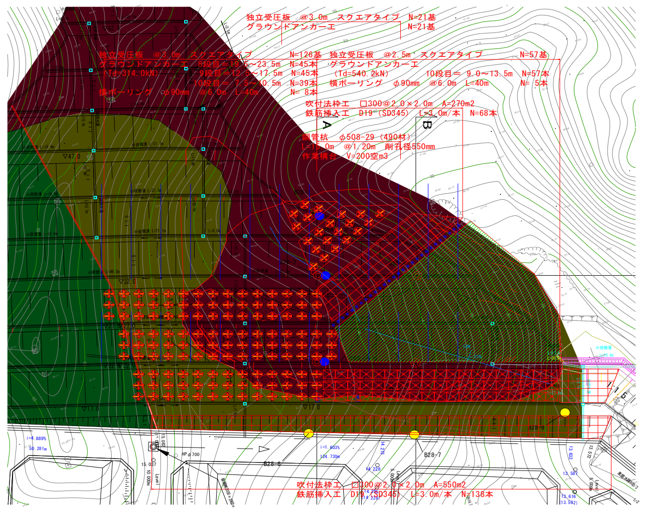
資料５

	第1案　横ボーリング工＋アンカー工	第2案　横ボーリング工＋アンカー工＋鋼管杭工	第3案　横ボーリング工＋排土工＋アンカー工+鋼管杭工

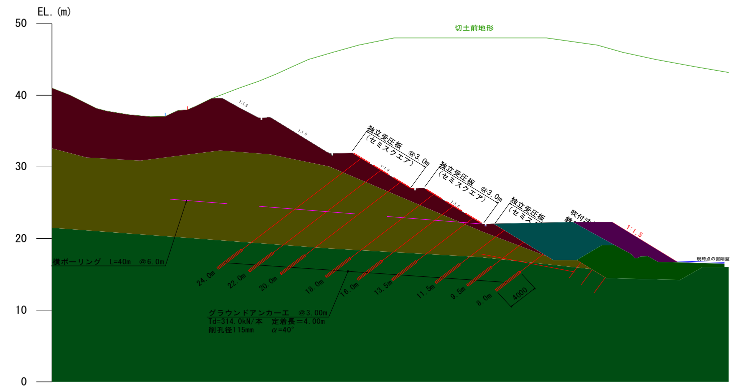
平面図

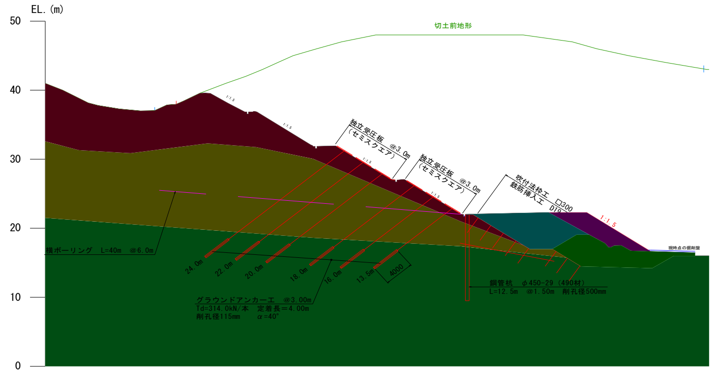


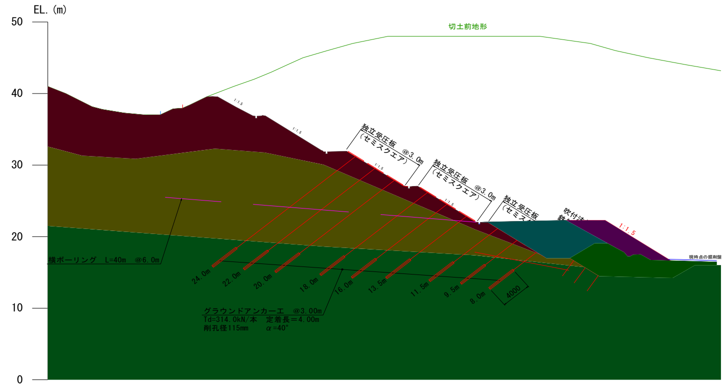




断面図







概算工事費

第1案　横ボーリング工＋アンカー工

工種	数量	単位	単価(円)	工費(円)	備考
押さえ盛土・撤去搬出	10,000	m3	8,000	80,000,000	
A-8段目 アンカー工	45	本	670,000	30,150,000	L=21.0m
A-9段目 アンカー工	42	本	520,000	21,840,000	L=15.0m
A-10段目 アンカー工	39	本	360,000	14,040,000	L=8.5m
A-鋼製受圧板	126	基	405,000	51,030,000	セミスクエア
B-8段目 アンカー工	36	本	750,000	27,000,000	L=23.0m
B-9段目 アンカー工	44	本	600,000	26,400,000	L=16.5m
B-10段目 アンカー工	48	本	440,000	21,120,000	L=10.5
B-鋼製受圧板	128	基	441,000	56,448,000	セミスクエア
足場工	3,850	空m3	5,000	19,250,000	
鋼管杭φ450-29		本			
鋼管杭φ508-29		本			
作業構台		m3			
頭部排土		m3			
アンカー工		本			
鋼製受圧板		基			
足場工		空m3			
吹付法枠工□300	550	m2	25,000	13,750,000	枠内植生含み
鉄筋挿入工	138	本	30,000	4,140,000	
植生工	2,300	m2	4,000	9,200,000	アンカー法面
横ボーリング	15	本	600,000	9,000,000	本設　下部
	15	本	600,000	9,000,000	仮設　下部
	4	本	700,000	2,800,000	仮設　上部
法面湧水処理工	2,740	㎡	11,500	31,510,000	
側溝撤去、再設置	920	m	28,000	25,760,000	
施工ヤード造成・撤去	6,000	㎡	300	1,800,000	不陸整正費用
敷鉄板設置・撤去	702	枚	2,165	1,519,830	100×60m＋北沢部
敷鉄板賃料	1	式	17,950,140	17,950,140	270日、702枚
タイヤ洗浄機 設置撤去含	1	台	1,320,750	1,320,750	270日
散水	1	式	4,641,120	4,641,120	11ヶ月×60%
仮設道路	1,050	㎡	3,350	3,517,500	アスファルト舗装
舗装撤去	1,050	㎡	104	109,200	
万能壁	330	m	10,380	3,425,400	330日
防塵ネット	150	m	7,050	1,057,500	330日
アスファルト処理	53	㎡	6,968	365,820	
法面整形(不良部置き換え)	500	㎡	5,000	2,500,000	
観測工	1	式	11,000,000	11,000,000	地中変位,ｱﾝｶｰ張力
			直接費	501,645,260	
			間接費	331,587,517	66.1%
			計	833,232,000	
			消費税 (8%)	66,658,560	
			合計	899,890,560	税込

899,890,560 円　(1.00)

第2案　横ボーリング工＋アンカー工＋鋼管杭工

工種	数量	単位	単価(円)	工費(円)	備考
押さえ盛土・撤去搬出	10,000	m3	8,000	80,000,000	
A-8段目 アンカー工	45	本	670,000	30,150,000	L=21.0m
A-9段目 アンカー工	42	本	520,000	21,840,000	L=15.0m
A-10段目 アンカー工		本			
A-鋼製受圧板	87	基	405,000	35,235,000	セミスクエア
B-8段目 アンカー工	36	本	750,000	27,000,000	L=23.0m
B-9段目 アンカー工	44	本	600,000	26,400,000	L=16.5m
B-10段目 アンカー工		本			
B-鋼製受圧板	80	基	441,000	35,280,000	セミスクエア
足場工	2,600	空m3	5,000	13,000,000	
鋼管杭φ450-29	25	本	1,836,000	45,900,000	L=12.5m
鋼管杭φ508-29	40	本	2,448,000	97,920,000	L=15.0m
作業構台		m3			
頭部排土		m3			
アンカー工		本			
鋼製受圧板		基			
足場工		空m3			
吹付法枠工□300	1,320	m2	25,000	33,000,000	枠内植生含み
鉄筋挿入工	330	本	30,000	9,900,000	
植生工	1,500	m2	4,000	6,000,000	アンカー法面
横ボーリング	15	本	600,000	9,000,000	本設　下部
	15	本	600,000	9,000,000	仮設　下部
	4	本	700,000	2,800,000	仮設　上部
法面湧水処理工	2,740	㎡	11,500	31,510,000	
側溝撤去、再設置	920	m	28,000	25,760,000	
施工ヤード造成・撤去	6,000	㎡	300	1,800,000	不陸整正費用
敷鉄板設置・撤去	702	枚	2,165	1,519,830	100×60m＋北沢部
敷鉄板賃料	1	式	27,532,440	27,532,440	420日、702枚
タイヤ洗浄機	1	台	1,804,500	1,804,500	420日
タイヤ洗浄機設置撤去	1	式	6,750,720	6,750,720	16ヶ月×60%
仮設道路	1,050	㎡	3,350	3,517,500	アスファルト舗装
舗装撤去	1,050	㎡	104	109,200	
防音壁	330	m	12,450	4,108,500	480日
粉塵対策	150	m	7,650	1,147,500	480日
アスファルト処理	53	㎡	6,968	365,820	
法面整形(不良部置き換え)	500	㎡	5,000	2,500,000	
観測工	1	式	11,000,000	11,000,000	地中変位,ｱﾝｶｰ張力
			直接費	590,851,010	
			間接費	390,552,518	66.1%
			計	981,403,000	
			消費税 (8%)	78,512,240	
			合計	1,059,915,240	税込

1,059,915,240 円　(1.18)

第3案　横ボーリング工＋排土工＋アンカー工+鋼管杭工

工種	数量	単位	単価(円)	工費(円)	備考
押さえ盛土・撤去搬出	10,000	m3	8,000	80,000,000	
A-8段目 アンカー工	45	本	670,000	30,150,000	L=21.0m
A-9段目 アンカー工	45	本	520,000	23,400,000	L=15.0m
A-10段目 アンカー工	39	本	360,000	14,040,000	L=8.5m
A-鋼製受圧板	129	基	405,000	52,245,000	セミスクエア
B-8段目 アンカー工		本			
B-9段目 アンカー工		本			
B-10段目 アンカー工	57	本	440,000	25,080,000	L=11.0m
B-鋼製受圧板	57	基	441,000	25,137,000	セミスクエア
足場工	2,800	空m3	5,000	14,000,000	
鋼管杭φ450-29		本			
鋼管杭φ508-29	28	本	2,448,000	68,544,000	
作業構台	200	m3	7,000	1,400,000	
頭部排土	4,000	m3	3,000	12,000,000	
アンカー工	21	本	490,000	10,290,000	L=21.0m
鋼製受圧板	21	基	270,000	5,670,000	セミスクエア
足場工	440	空m3	5,000	2,200,000	
吹付法枠工□300	820	m2	21,000	17,220,000	枠内植生含み
鉄筋挿入工	206	本	23,000	4,738,000	
植生工	1,900	m2	4,000	7,600,000	
横ボーリング	13	本	600,000	7,800,000	本設　下部
	13	本	600,000	7,800,000	仮設　下部
	4	本	700,000	2,800,000	仮設　上部
法面湧水処理工	1,900	㎡	11,500	21,850,000	
側溝撤去、再設置	920	m	28,000	25,760,000	
施工ヤード造成・撤去	6,000	㎡	300	1,800,000	不陸整正費用
敷鉄板設置・撤去	702	枚	2,165	1,519,830	100×60m＋北沢部
敷鉄板賃料	1	式	25,615,980	25,615,980	390日、702枚
タイヤ洗浄機	1	台	1,707,750	1,707,750	390日
タイヤ洗浄機設置撤去	1	式	6,328,800	6,328,800	15ヶ月×60%
仮設道路	1,050	㎡	3,350	3,517,500	アスファルト舗装
舗装撤去	1,050	㎡	104	109,200	
防音壁	330	m	12,050	3,976,500	450日
粉塵対策	150	m	7,550	1,132,500	450日
アスファルト処理	53	㎡	6,968	365,820	
法面整形(不良部置き換え)	500	㎡	5,000	2,500,000	
観測工	1	式	11,000,000	11,000,000	地中変位,ｱﾝｶｰ張力
			直接費	508,297,880	
			間接費	335,984,899	66.1%
			計	844,282,000	
			消費税 (8%)	67,542,560	
			合計	911,824,560	税込

911,824,560 円　(1.01)